JIU JITSU TODAY

VOL. 08

【ジウジツトゥデイ】

2024 SUMMER

Jiu Jitsu in Paradise
GUAM

注目のグアム柔術界の今を知る！

大会レポート

TOKYO SPRING
KANSAI INTERNATIONAL
MARIANAS PRO JAPAN
ASIA CUP
SHIKOKU OPEN
OKINAWA INTERNATIONAL OPEN
TOKYO INTERNATIONAL

AWARD CEREMONY 2023

スポーツくじ WINNER SOCCER・BASKETBALL toto FOR ALL SOCCERS OF JAPAN BIG

すべての
スポーツに
エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

くじを買うはエールになる

スポーツくじ　WINNER　toto　BIG

19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

JIU JITSU TODAY 08 発刊

Greeting

JIU JITSU TODAY8号をお読みいただきまことにありがとうございます。3月に初開催されたアジア杯にはアジア各国から多くの参加者が集まり盛況のうちに幕を閉じました。アジアカップだけでなく、最近の当連盟主催大会においては、お隣の韓国や中国からの参加者も多く、また試合での活躍も目立ちアジアにおける柔術の広がりを感じさせてもらっています。

9月26日から4日間渡って開催されるSJJIF WORLDではこれまで以上に海外からの参加者が集まることが予想されております。当連盟においてはホスト国として皆様のご期待に添えるような大会運営ができるようにチーム一丸となって準備を進めてまいります。

アジアスポーツ柔術連盟会長
篭原エヂソン

SJJIF ORGANIZATION CHART

SJJIFは“柔術をオリンピック競技に！”をスローガンに掲げて、世界各地で柔術の競技大会の開催や普及活動に取り組んでいます。

SJJIF（スポーツ柔術国際連盟）の組織図

スポーツ柔術国際連盟は2013年にアメリカを拠点として設立され、柔術の普及とオリンピック種目への採用を目指しています。

これらを実現するため、SJJIFは各大陸に連盟を設けており、ASJJFは、アジア各国における啓蒙活動と柔術大会の運営、プロモーションを担っている団体です。

SJJJFは国別連盟にあたり、ASJJFの統括の下に日本での大会運営などを中心に活動を広げています。

ASJJF & SJJJF 大会レポート

Report

のべ1500人が参加した初開催のアジア杯とその前日に行われ
10月に開催されるマリアナスオープンへのトラベルパック獲得で話題となった
マリアナスプロジャパンを中心に日本各地で行われた大会のレポートをお届けします

TOKYO SPRING
KANSAI INTERNATIONAL
MARIANAS PRO JAPAN
ASIA CUP

SHIKOKU OPEN
OKINAWA INTERNATIONAL OPEN
TOKYO INTERNATIONAL

ASJJF

TOKYO SPRING 2024

DATE:2023年2月10日(土)、11日(日)　VENUE:GENスポーツパレス(東京・大久保)

ASJJF の 2024 年度の開幕戦は〝春の祭典〟トーキョースプリング。プロマッチでも使用される老舗会場である GEN スポーツパレスにマットをセッテングし、2日間に渡って激闘が繰り広げられた。

MMAでも活躍中の藤田大がアダルト黒帯Wゴールド獲得
ニコリーは柳との初対決を秒殺一本勝ちで制す

アダルト黒帯スーパーヘビー決勝戦は藤田大(パラエストラ千葉)とクレイトン・マノエル(Impacto BJJ)の初対決。体格で勝るクレイトンだったが藤田の肩固めで一本負けし、続くオープンクラスも欠場で藤田が不戦勝、Wゴールドとなった。

デヴィッド・ヌネス(INFIGHT JAPAN)とケビン・ベルトラン(ねわざワールド小江戸)の間で争われたアダルト茶帯のミディアムヘビー＆オープンクラスの2連戦はデヴィッドが2連勝、しかも2試合連続の一本勝ちで完勝。

今大会が黒帯デビュー戦だったアラン・テレゾ(Impacto BJJ)はマスター2黒帯オープンクラス決勝戦でいきなり強豪の高本裕和(高本道場)との対戦になり、防戦一方の試合展開で最後は高本の得意技・カーフスライサーで一本負けを喫した。

Team Point

Adult　1.Impacto BJJ　2.INFIGHT JAPAN　3.セキタニ柔術アカデミー

Kids　1.カーロストヨタBJJ　2.INFIGHT JAPAN　3.CARPE DIEM

Master　1.Impacto BJJ　2.OVERLIMIT BJJ　3.URUSHI DOJO

驚愕の試合ぶりだったニコリー・セキタニ(セキタニ柔術アカデミー)vs柳朝海(MASTER JAPAN TOKYO)の注目の初対決が女子アダルト青帯オープンクラス決勝戦で実現。結果はニコリーがクローズドから絞めを極めて秒殺一本勝ちの衝撃の結末。

しばらく試合から離れていた間にずいぶんとウェートアップしていたジエメルソン・ハッタ(Impacto BJJ)。色帯時代はライトフェザーで現在は100kgほどの体重になっていたが、マスター1黒帯オープンクラス決勝戦で片岡裕貴(AXIS一宮)に勝利で優勝。

アダルト紫帯ライトフェザー決勝戦は横山源太(Swells柔術ジム)とジオゴ・タダ(INFIGHT JAPAN)の若手対決。横山3兄弟の末弟・源太はトーナメント全試合を一本勝ちで極めまくって優勝。敗れたジオゴだがまだまだ伸びしろたくさんだ。

今大会のベストマッチはレオナルド・マサト(RRT)vs永尾澪(CARPE DIEM SENDAI)のアダルト紫帯オープンクラス決勝戦。ミドル優勝の永尾とヘビー準優勝のレオナルドのメダリスト同士の対戦は激戦の末にレオナルドが勝利し金メダル獲得。

熾烈な試合ぶりだったジュブナイル青帯オープンクラス決勝戦の髙橋瑞希(Crowforest)vs佐野カイラ(AXIS)。佐野はフェザーで、髙橋はライトで優勝しているチャンピオン対決は2-0で髙橋が制してWゴールド。現在のジュブナイル青帯はハイレベルだ。

ASJJF

KANSAI INTERNATIONAL 2024

DATE:2024年2月11日(日) | **VENUE:吹田武道館(大阪府吹田市)**

大阪で開催された今大会は中部エリアからも選手が参加し、関西地区の強豪が集結したハイレベルな大会となっている。

アダルト黒帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦は山田大聖(X-TREME柔術アカデミー)と柴田宏太(Impacto BJJ)の対戦。久しぶりの試合出場となった山田だったがブランクを感じさせない動きで無難に勝利。

伏見達之介(CARPE DIEM ASHIYA)と今治暁人(パラエストラ天満)で争われたアダルト茶帯フェザー決勝戦は伏見がレスリング仕込みのタックルを活用して勝利、金メダルを獲得している。

アダルト茶帯は〝DEEP HALF CLUB〟伏見&為房が制圧

女子青帯はMMAファイター vs 小学生の異色対決が実現

アダルト茶帯ミドルを一人優勝し、オープンクラスのみの出場だった為房虎太郎(CARPE DIEM ASHIYA)がトーナメントを制して優勝、階級&無差別でWゴールドを手中に収めた。

まだ中学生で緑帯の須田雄律(Scorpion Gym)が橙帯の冨田健太朗(正道会館菱川道場)とアダルト青帯ルースター決勝戦で対戦して見事に勝利、アダルト青帯マッチで優勝を果たす。

女子アダルト青帯Wゴールドはプロ MMA ファイターとしても活躍する平田彩音(BURST)。ライトフェザーで優勝した後、オープンクラスでアナベラ・リンカ・ウォーカー(Leos Jiu Jitsu Academy)に勝利して2階級制覇達成。

グアムから来日のフランセスカ・リザマ(PUREBREDグアム)が女子アダルト紫帯オープンクラスのワンマッチ決勝戦でビアンカ・ワタナベ(EVOX BJJ)と戦い、絞めを極めて一本勝ちで快勝。

Team Point

Adult	1.パラエストラ天満　2.EVOX BJJ　3.Impacto BJJ
Kids	1.Impacto BJJ　2.CARPE DIEM ASHIYA　3.チーム絆
Master	1.Impacto BJJ　2.SCORPION GYM　3.パラエストラ天満

ASJJF

MARIANAS PRO JAPAN 2024

DATE:2024年3月9日(土)　愛知県武道館(愛知県名古屋市)

昨年に引き続き開催されたマリアナスプロジャパンは名古屋で初開催。今大会の優勝者たちに10月にグアムで開催される賞金大会「マリアナスオープン」へのトラベルパックが贈呈された。

黒帯1年目で成長著しいダニーロ・ハマザキ
強豪・森戸新士を撃破してグアム行きのトラベルパック獲得

アダルト黒帯オープンライトはダニーロ・ハマザキ(CARPE DIEM MITA)と森戸新士(LEOS Jiu Jitsu Academy)の決勝戦に。マット際の微妙なところでテイクダウンに成功したダニーロが優勝となった。

Adult black belt open light went to the final between Danilo Hamazaki (CARPE DIEM MITA) and Shinji Morito (LEOS Jiu Jitsu Academy). Danilo was the winner after a successful takedown in a delicate spot near the mat.

サンディエゴから参戦してきたシャビエル・シウバ(EVOX BJJ)がアダルト黒帯オープンヘビーを圧倒して優勝。決勝戦は藤田大(パラエストラ千葉)から腕十字で一本勝ちして金メダル＆トラベルパックを手にした。

Xavier Silva (EVOX BJJ) from San Diego dominated the Adult Black Belt Open Heavy to win the tournament. In the final match, he won the gold medal and travel pack with won by armbar from Hiroshi Fujita (Paraestra Chiba).

サンディエゴから参戦のシャビエル・シウバ
圧倒的なパフォーマンスでワールドクラスの実力を見せる

昨年のマリアナスオープンにも参戦していた斉藤晶(INFIGHT JAPAN)は階級＆無差別とも準優勝で賞金獲得ならずだった。今年もアダルト茶帯オープンライトを制して2年連続の本戦出場を決定。

Sho Saito (INFIGHT JAPAN), who also competed in last year's Marianas Open, was runner-up in both his weight class and non-discrimination, and did not win any prize money. This year, he won the Adult Brown Belt Open Light.

いまや世界を代表するワールドクラスの選手となったカウアン・タニノ(福住柔術)はアダルト茶帯オープンヘビー＆スーパーヘビーのWゴールド。マリアナスオープン本戦でも優勝候補筆頭なのは間違いない。

Kauan Tanino (Fukuzumi Jiu Jitsu), now a world class competitor representing the world, is a W Gold Adult Brown Belt Open Heavy and Super Heavy. He is surely the leading contender for the Marianas Open.

はるばる東北・仙台から参戦してきた熊田堅信(Sendai Jiu Jistu Academy)がアダルト紫帯オープンライトのトーナメントを全試合一本勝ちで制覇。自身初の海外大会参戦に意気込んでいる。

Kenshin Kumada (Sendai Jiu Jistu Academy) came all the way from Sendai, Tohoku, to win the Adult Purple Belt Open Light division, winning all of hisopponents by submission. He is eager to compete in his first overseas tournament.

優勝候補と目されていた岡明大(PATO STUDIO)からミディアムヘビー＆オープンヘビーで2連勝してWゴールド＆トラベルパック獲得の寺本裕基(パラエストラ天満)は柔道ベースの堅実な寝技が持ち味だ。

Yuki Teramoto (Paraestra Tenma), who won the W Gold and Travel Pack with two consecutive wins in medium heavy and open heavy from Akihiro Oka (PATO STUDIO), who was considered the favorite to win, has solid judo based Newaza skills.

アダルト青帯オープンライト優勝の中島琉輝(AXIS)は参加者多数の激戦区を勝ち上がってのトーナメント制覇でグアム行きを決めた。まだ若いヤングボーイだけに、この海外遠征は大きな経験値となるだろう。

Ryuki Nakajima(AXIS), the winner of the Adult Blue Belt Open Light divison, won the tournament by winning the highly competitive field of participants and decided to go to Guam. As a young boy, this overseas trip will be a great experience for him.

大学時代には柔道とレスリングの猛者として名を馳せていた中野怜王(パラエストラ天満)がアダルト青帯オープンヘビーのトーナメントで優勝。今大会ではパラエストラ天満の選手たちの活躍ぶりが顕著だった。

Reo Nakano (Paraestra Tenma), who had made a name for himself as a fierce competitor in judo and wrestling during his college days, won the Adult Blue Belt Open Heavy tournament. Paraestra Tenma competitors were outstanding in this tournament.

昨年度のASJJFランキング・ジュブナイル青帯1位を獲得しているグスタボ・ナカハラ(カーロストヨタBJJ)がジュブナイル青帯唯一のトラベルパック獲得者。国内では最強クラスの1人だがグアムでの活躍を期待。

Gustavo Nakahara (Carlos Toyota BJJ), last year's ASJJF #1 ranked juvenile blue belt, is the only juvenile blue belt to win a travel pack. He is one of the best Juvnile in Japan, but we expect him to do well in Guam.

日系ブラジリアンの"サラダ"ことマーシオ・メデイロス(Impacto BJJ)はマスター1黒帯のライトとオープンライトでWゴールド。最近はレギュラートーナメントでも負けなしの快進撃を続けている。

Japanese Brazilian "Sarada" Marcio Medeiros (Impacto BJJ) is a Master 1 Black Belt and Open Light W Gold. He has been on a roll lately, with no losses in regular tournaments.

第1回目のマリアナスプロジャパン優勝者でマリアナスオープンにも出場経験があるトーマス・ミッツ（CARPE DIEM JIYUGAOKA）が久しぶりに参戦しマスター1黒帯オープンヘビーを制して4年ぶりにグアム出陣。

Thomas Mietz (CARPE DIEM JIYUGAOKA), the winner of the firstedition Marianas Pro Japan and a former competitor in the Marianas Open, will be making his first Guam appearance in four years after winning the Master 1 Black Belt Open Heavyweight.

昨年のマリアナスプロジャパン王者でマリアナスオープンでもアダルト黒帯オープンクラス3位になっているホジェリオ・クリスト（EVOX BJJ）が今年はマスター3黒帯オープンライトで優勝し2年連続参戦決定。

Rogelio Cristo (EVOX BJJ), last year's Marianas Pro Japan champion and 3rd place in the Adult Black Belt Open Class at the Marianas Open, won the Master 3 Black Belt Open Light this year and will compete in the Marianas Open for the second consecutive year.

国内外でアクティブに試合をするヨースキ・ストー（Impacto BJJ）も2年連続でマリアナスオープン出場を決めた。マスター3黒帯オープンヘビーを余裕で優勝し、本戦では賞金獲得を目論んでいる。

Yoski SUto (Impacto BJJ), who actively competes domestically and internationally, has also decided to compete in the Marianas Open for the second year in a row. He won the Master 3 Black Belt Open Heavy with a comfortable victory.

かつてはアダルトでバリバリ試合をしていたルーカス・ヒロサワ（INFIGHT JAPAN）もいまやマスター世代。だが往年の強さは健在でマスター1茶帯オープンヘビーで優勝してグアムへのトラベルパック獲得。

Lucas Hirosawa (INFIGHT JAPAN), who used to compete in the adult division, is now a master divison competitor. However, he still retains the strength of the past, winning the Master 1 brown belt open heavy division and a travel pack to Guam.

マスター黒帯＆女子は日系ブラジリアンが多数優勝
ホジェリオ＆ヨースキは２年連続グアムへ

女子アダルト黒帯はオープンライトのみが行われた。決勝戦はミレーナ・サクモト（ALMA FIGHT GYM HOMIES）と村上彩（CARPE DIEM MITA）の一騎打ちで、腕十字を極めたミレーナが一本勝ちで優勝している。

Female adult black belt event was open light only. The final was between Milena Sakumoto (ALMA FIGHT GYM HOMIES) and Aya Murakami (CARPE DIEM MITA), with Milena winning by submission armbar.

カロリーナ・クワハラ(INFIGHT JAPAN)と中山有加（Yawara)の女子アダルト茶帯オープンライト決勝戦は絞めを極めてカロリーナが一本勝ち。中山はこの敗戦まで柔術で無敗を誇っていたがついに初黒星を喫した。

Carolina Kwahara (INFIGHT JAPAN) and Yuka Nakayama (Yawara) compete the female adult brown belt open light final with Carolina winning by choke. Nakayama had been undefeated in jiu jitsu until this loss, but finally suffered her first lost.

女子アダルト紫帯オープンヘビー決勝戦は吉永愛（パラエストラ岐阜）と奥富夕夏（リバーサルジム新宿Me,We）は青帯以来の再戦。前回は敗れている吉永だが今回はサドンデスで奥富を破って優勝。

In the female adult purple belt open heavy final, Ai Yoshinaga and Yuka Okutomi rematched for the first time since their blue belt match. Ai lost in their previous match, but this time she defeated Okutomi in sudden death to take revenge and got gold medal.

最多人数トーナメントとなった女子アダルト青帯オープンヘビーのエントリーは12人。最大3試合を勝ちぬいて優勝した上田真央（吹田柔術）がグアム行きのトラベルパックを勝ち取っている。

The largest tournament of the day, the female Adult Blue Belt Open Heavy had 12 entries. Mao Ueda (Suita Jiu Jitsu) won the tournament by winning the maximum three matches, and won the travel pack to Guam after winning a fierce competition.

チームポイントのアダルト部門の1位は紫帯と青帯で優勝者を輩出しているパラエストラ天満。少数精鋭ながら優勝＆入賞続出でチームポイントでも1位を獲得している。

The first place in the adult division of team points went to Paraestra Tenma, which has produced winners at purple belt and blue belt. Despite being a small elite group, they have won and placed in a number of tournaments, and are ranked first in team points.

昨年もチームポイント・マスターカテゴリーで優勝しているOVERLIMIT BJJアソシエーションが大会2連覇。国内よりも韓国から多数の参戦があり、その選手たちの活躍が功を奏した。

OVERLIMIT BJJ Association, which also won the Team Points Master category last year, won the tournament for the second year in a row. The success of these athletes was due more to the large number of entries from Korea than from Japan.

地元・名古屋のチームであるImpacto BJJがキッズ部門で1位を獲得しトラベルパック×2をゲット。キッズチームのインストラクターであるブルーノ・イシイは「狙ってたから勝てて嬉しい」と大喜び。

Impacto BJJ, a local team from Nagoya, took first place in the kids division and won 2 travel packs. Bruno Ishii, instructor of the kids team, was overjoyed, saying, "We were aiming for it, so we are happy to win.

ASJJF

ASIA CUP 2024

DATE:2024年3月10日(日) | 愛知県武道館(愛知県名古屋市)

今大会が初開催となったASJJFが主催する「アジア杯」はアメリカからSJJIF＝国際連盟会長も視察に訪れて華々しく開催された。今後はアジア杯とアジアオープンが定期開催される見込みだ。

初開催のアジア杯は参加者1500人を超える大盛況
大会1か月前に早期締め切りの人気ぶり

アダルト黒帯オープンクラスは階級別は欠場しオープンクラスにのみ出場の荒井勇二(Over Limit BJJ)が3試合に勝利して優勝。決勝戦は渡邊隆弘(パラエストラ岐阜)に逆転の判定勝ちだった。

アダルト黒帯ライトはワンマッチ決勝戦。東京から参戦のジエゴ・エンリケ(CARPE DIEM MITA)がバックから絞めを極めて柴田宏太(Impacto BJJ)から1分ほどで一本勝ちの秒殺勝利。

マスター2黒帯フェザーのワンマッチ決勝戦は加古拓渡(GSB)とルーカス・タヒラ(EVOX BJJ)の対戦で試合は加古がトーホールドで一本勝ちで優勝。ルーカスは「やっぱ強ぇぇ!」と舌を巻いた。

Team Point		
	Adult	1.Impacto BJJ　2.EVOX BJJ　3.カーロストヨタBJJ
	Kids	1.Impacto BJJ　2.EVOX BJJ　3.カーロストヨタBJJ
	Master	1.Impacto BJJ　2.CARPEDIEM NAGOYA　3.EVOX BJJ

アダルト紫帯オープンクラス決勝戦はライト優勝のセオ・ハンキョル(Asm BJJ)とミディアムヘビー優勝のグスタボ・ツボネ(INFIGHT JAPAN)の韓国vsブラジルの対戦で、セオが優勝してWゴールドを手にした。

昨年から本格的に試合復帰してきた嶌崎公次(Evermove)がマスター3黒帯ライトで優勝。決勝戦は田端祐介(パラエストラ守谷)から絞めを極めて一本勝ちでベテラン健在をアピール。

熊本から出場の髙本奈月(TATORU)と中国から参戦の王胤一(Top Brother China)のアダルト茶帯フェザー決勝戦は髙本が腕十字を極めて優勝。髙本は2試合連続の一本勝利で極めの強さを存分に発揮。

階級別はマスターに出ていた乗次秀彦(バッファロー柔術)がアダルト茶帯オープンクラスで優勝。準優勝はライト優勝の山下健士(Jiu Jitsu Gym Trinity)。3位はライトフェザー優勝の加藤聡志(GSB)と、全員がメダリストの実力者揃い。

オープンクラスのみの試合だった中山有加(Yawara)は女子アダルト茶帯オープンクラス決勝戦で中国の李东泠(Top Brother China)に腕十字を極めて一本勝ちで優勝。マリアナスプロジャパンでは初黒星を喫したが今大会では見事に金メダルを獲得。

女子アダルト青帯Wゴールドは柳朝海(MASTER JAPAN TOKYO)。国内では最強クラスの青帯だけに安定した強さを発揮し、ミドルとオープンクラスで2階級制覇して女子青帯を完全制圧。

一時期は学業で柔術から離れていたルアナ・イノウエ(BJJ CORE JAPAN)が4年ぶりに試合復帰。相変わらずの強さで女子アダルト青帯フェザーで優勝。今後の本格復帰を楽しみにしたい。

女子ジュブナイル青帯のフェザーとオープンクラスの決勝戦でレベッカ・スガヌマ(EVOX BJJ)と2連戦して2連勝したニコリー・セキタニ(セキタニ柔術アカデミー)。ニコリーは女子ジュブナイル青帯では敵なしだ。

Team Point

NO-GI Adult	1.Impacto BJJ　2.カーロストヨタBJJ　3.RRT
NO-GI Kids	1.Freedom@Oz　2.カーロストヨタBJJ　3.Impacto BJJ

大会常連の長谷川悠(ボンサイ)と九州から参戦の脇元凛音(G-Face)のティーン橙帯フェザー決勝戦は長谷川が三角絞めから腕を伸ばして三角腕十字を極めて一本勝ち。どちらも大会戦績豊富な実力者同士だけに見応えがあった。

北九州のボヘミアンズ所属の城島可夢偉と熊本のTATORU所属の高亀由宇の九州勢同士の決勝戦となったジュニアティーン黄帯ライトフェザー決勝戦は城島が接戦を制して優勝を果たす。

今大会ではティーン緑帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦1試合のみが実現し、坂口輝育(CARPE DIEM HOPE)とセオ・ハンギョル(BASE BJJ KOREA)が対戦し坂口が勝利。

元気キッズが多数出場
アジア最高峰のキッズは誰だ!?

キッズマッチも国際戦が多数実現。女子ジュニアティーン橙帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦は階級を上げて出場の吉村千菜(X-TREME EBINA)が韓国から参戦のキム・ジュエン(BASE BJJ KOREA)に腕十字を極めて一本勝ちで優勝。

九州を代表する女子キッズの緒方3姉妹の長女、愛梨(CARPE DIEM KURUME)はティーン黄帯ルースターのワンマッチ決勝戦でグアムから参戦してきたアロラ・ヴィラベルデ(カーウソングレイシーグアム)にポジショニングで圧倒して勝利。

女子ティーン黄帯ライトフェザー優勝の笠井祈(BLUE MAX)は柔道と柔術を並行して試合出場しており、柔道ベースだけに強靭なフィジカルと安定したトップゲームの強さが持ち味だ。

過去幾度となく対戦している三輪莉子(CARPE DIEM HOPE)と中川輝世羅(ALMA FIGHT GYM HOMIES)。今大会と前日のマリアナスプロでは三輪が2大会連続の勝利で2連勝となっている。

病気を克服して試合復帰したレティシア・ヒラノ(EVOX BJJ)は復帰後も連勝中。今大会では女子ティーン緑帯ライトフェザーで優勝し、決勝戦では韓国のパク・ビュルハ(BASE BJJ KOREA)に5-2で勝利して連勝記録更新。

ノーギカテゴリーは海外勢が活躍 中国やグアムから参戦の選手が金メダル獲得

ノーギ・アダルト黒帯ミドルは中国の袁鉄（Galaxy Jiu Jitsu）と日系ブラジリアンのマテウス・ヒロトミ（Impacto BJJ）の決勝戦。試合巧者のマテウスからバックを奪った袁がRNCを極めて一本勝ちで優勝。

ワンマッチ決勝戦のノーギ・アダルト黒帯オープンクラスはグアムのオリバー・クルーズ（PUREBREDグアム）とマテウス・ヒロトミ（Impacto BJJ）の一騎打ち。試合はオリバーがRNCで一本勝利し、マテウスは階級別＆無差別ともRNCを極められてしまった。

レアンドロ・カルバーリョ（カーロストヨタBJJ）が優勝したノーギ・マスター3黒帯フェザー。このレアンドロはかのオズワルド・ファダの流れを汲む黒帯で中国から参戦。決勝戦は沖縄から出場の清水慎也（CARPE DIEM NAHA）を破っている。

マスター2黒帯オープンクラス決勝戦はImpacto BJJから独立し、バトレチームに移籍した“トラオン”エヴェルトン・アサオとを制したのはランジェル・ホドリゲス（RRT）。の対戦で、ランジェルが判定勝利して戴冠。

今大会の主催はASJJFだが9月に世界大会開催を控えるSJJIF会長のジョアオ・シウバも視察に訪れ、3つの連盟会長が顔を揃えた。左からSJJJF会長の村田良蔵、SJJIF会長・ジョアオ・シウバ、ASJJF会長・篭原エヂソン。

ASJJF

SHIKOKU OPEN 2024

DATE:2024年3月17(日)
VENUE:ソイジョイ武道館

初開催の四国オープンは徳島で開催され、四国のみならず大阪や九州からも選手が出場して多彩な顔触れが揃って行われている。

チアゴ・トサワ、2024 年度はマスター２黒帯でランキング１位を狙う

昨年のASJJFランキングでマスター1黒帯1位に輝いたチアゴ・トサワ(Impacto BJJ)は今年からマスター2黒帯になり、ランキング連覇を目指す。今大会ではマスター2黒帯オープンクラスのワンマッチ決勝戦で山田大聖(X-TREME柔術アカデミー)に勝利して優勝。

小学生のアナベラはアダルト青帯で優勝の快挙

まだ小学生・黄帯のアナベラ・リンカ・ウォーカー(Leos Jiu Jitsu Academy)が女子アダルト青帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦で小野ねね(BLAZE BJJ)に勝利して優勝の快挙。キッズの一人優勝と合わせて2つの金メダルを手にした。

Team Point

Adult	1.BLAZE BJJ　2.Escudo　3.Shuhari柔術
Kids	1.FREE STYLE Jiu Jitsu　2.FAROL BJJ　3.TEAM AGENT
Master	1.ねわざワールド愛媛　2.Impacto BJJ　3.X-TREME柔術アカデミー

ASJJF

OKINAWA INTERNATIONAL OPEN 2024

DATE:2024年3月30日(土)
VENUE:沖縄武道館

いま沖縄には柔術ジムやチームが増えてきており、以前に比べて大会開催も盛んとなった。沖縄での大会は観光を兼ねて参戦してくる選手たちも多い。

白木アマゾンが復活ＶでＷゴールド
チーム優勝は地元のイヴァンサカモト BJJ が２部門を制覇

膝の怪我で長期戦線離脱していた白木大輔(CARPE DIEM HOPE)が試合復帰。マスター3黒帯スーパーヘビー＆オープンクラスのワンマッチ決勝戦でボドリゴ・ワタナベ(イヴァンサカモトBJJ)に2連勝してWゴールド獲得。

アダルト茶帯Wゴールドは韓国から参戦のチェ・ミンギュ(TEAM MAD KOREA)。ウルトラヘビーとオープンクラスで優勝して2つの金メダルを韓国に持ち帰っている。最近の大会はどこにも韓国人選手が出ていて好成績を残している。

チームポイントはマスターとキッズでイヴァンサカモトBJJが2冠。アダルト優勝はCARPE DIEM Okinawaが獲得している。2位はThe Black Belt Japanで、ここはTHEパラエストラ沖縄から改名した新チームだ。3位はImpacto BJJが入賞。

Team Point

Adult	1.CARPE DIEM OKINAWA　2.IVAN SAKAMOTO BJJ Okinawa　3.The Black Belt Japan Okinawa
Kids	1.IVAN SAKAMOTO BJJ Okinawa　2.The Black Belt Japan Okinawa　3.Impacto BJJ
Master	1.IVAN SAKAMOTO BJJ Okinawa　2.The Black Belt Japan　3.Impacto BJJ

ASJJF

TOKYO INTERNATIONAL 2024

DATE:2024年4月6日(土)、7日(日)　墨田区総合体育館

2日間に渡って開催された東京国際はアダルト・マスター・キッズ・ノーギの4大会を同時開催。初参戦の強豪選手やプロマッチ出場の著名な選手、海外勢の参戦もあり盛り上がった。

ASJJF 初参戦の澤田伸大、ワンマッチ決勝戦で大差の判定勝ち

今大会で唯一行われたアダルト黒帯の試合はルースターワンマッチ決勝戦。この試合はASJJF主催大会初参戦の澤田伸大(トライフォース)が柴田宏太(Impacto BJJ)に対し、スイープ＆マウントで先制。スイープを許しながらも9-2で大差の判定勝ちでASJJF主催大会初参戦＆初優勝を飾った。

優勝した澤田のコメント「初参戦にあたり 改めてルールブックとか読み込んで、これはこれで素晴らしいし面白いルールだと思いました。いろんな人に『澤田はこっちの方が向いてるんじゃないか』とか結構言われて、確かにそうかもなと。今後は積極的にASJJFにも出ていきたいなと思ってます。」

Team Point

Adult	1.カーロストヨタBJJ　2.INFIGHT JAPAN　3.ストライプル茨城
Kids	1.INFIGHT JAPAN　2.CARPE DIEM MITA　3.カーロストヨタBJJ
Master	1.Impacto BJJ　2.OVERLIMIT BJJ　3.トライフォース

アダルト茶帯オープンクラスは韓国人のク・ブンチョル(Team Roots Korea)が2試合を一本勝ちで優勝。決勝戦は萩原大揮(Relaxin' BJJ)にハーフガードからブルドッグニーバーを極めて一本勝ちしている。

韓国から参戦の選手たちが大活躍
ミドル以外は軒並み優勝

アダルト紫帯ライトフェザーで準決勝を一本勝ちし、決勝戦も坂田瑞希(BLAZE BJJ)に37-0という大差をつけての勝利となったイ・ヒュンセウン(Jiu Jitsu Land)。最近の大会では韓国人選手活躍ぶりが顕著だ。

ジョン・ドングェとキム・パンスンのアラバンカ・コリアのチームメイト同士のワンマッチ決勝戦だったアダルト紫帯フェザーは、試合をせずにクローズアウト。金メダルはジョンが手にした。

今大会では韓国勢が猛威を振るう中、アダルト紫帯ミドルは日本人選手が優勝。サドンデスに突入する接戦を中田嵐(さくら柔術)が柔道仕込みのテイクダウンをヨンジュン・ドゥ(WIRE Jiu Jitsu)に決めて激勝。

茶帯に続き、アダルト紫帯のオープンクラスも韓国人選手が優勝。ヨンジュン・ドゥ(WIRE Jiu Jitsu)が日系ブラジリアンの強豪であるレオナルド・マサト(RRT)から三角絞めを極めて一本勝ちで金メダル獲得。

アダルト青帯オープンクラスを制したのは井上理久（ストライプル茨城）。長く柔道に専念していたが柔術にも復帰し、今大会ではフェザーとオープンクラスを制してWゴールドに輝いた。

マスター２黒帯スーパーヘビーは岐阜＆名古屋のヨースキ・ストーと群馬・伊勢崎のクレイトン・マノエルのImpacto BJJ支部長2人が勝ち上がって決勝戦をクローズアウトして勝利をシェア。

マスター黒帯のベストマッチはマスター2ミドル決勝戦、石川史俊（CARPE DIEM AOYAMA）vsチアゴ・トサワ（Impacto BJJ）のワンマッチ決勝戦。昨年のランキング1位のチアゴをスイープして2-0で勝利した石川の老獪な試合運びがお見事だった。

ベテランたちが豪華競演
男女とも好勝負が続出

黒部三奈（MASTER JAPAN TOKYO）が今大会で女子マスター3茶帯フェザーで金メダルを獲得。決勝戦は砂川久美子（上野御徒町ブラジリアン柔術部）に対し、17-0という大差の判定勝ちで完封勝利。

今大会での最速一本勝ちとなったティーン橙帯フェザー決勝戦は、坂田幸之助（PATO STUDIO）に対し、わずか6秒で腕十字を極めた三好虎太朗（SONIC SQUAD）が瞬殺勝利でトーナメント制覇。

キッズマッチはアダルトと違いレフリーの見込み一本がある。女子ジュニアティーン灰帯ライトフェザー決勝戦、楨田想(高本道場)vs鈴木陽(トライフォース川越)も腕十字の形になり、完全に腕が伸びる前にレフェリーが試合を止めてけがを未然に防いでいる。

過去にも対戦している両者がティーン緑帯ミドル決勝戦で再び激突。目まぐるしい試合展開の中、エンゾ・ヤマザト(カーロストヨタBJJ)が須田雄律(Scorpion Gym)に対し、1:12 腕十字を極めて鮮烈な一本勝ち。エンゾは相変わらず極めの強さが突出している。

国内屈指のノーギグラップラー渡部修斗
持ち前の極めの強さで一本勝ちし優勝

MMAを引退後はグラップリングのプロマッチで活躍中の渡部修斗(ストライプル新百合ヶ丘)が出場し、ホベルト・マツオ(カーロストヨタBJJ)をポジショニングで圧倒、最後はギロチンを極めてマスター 1茶帯ライトフェザーで優勝。

MMAでも活躍中の青野ひかる(ストライプル新百合ヶ丘)は女子マスター1紫帯オープンクラス決勝戦でブリアンダ・セブレロス(アリアンシ・サンディエゴ)を12-0で制して階級＆無差別でWゴールド獲得。

ノーギのチーム表彰で1位となったのはアリアンシ・サンディエゴ。海外から少数精鋭で遠征して参戦してきた選手たちが好成績を残してこの快挙に繋がった。

Jiu Jitsu in Paradise
GUAM

いま日本の柔術シーンと密接な関係があるグアムは
南国の島として知られており、観光地としても人気を博している。
そんなグアムで毎年開催されている「マリアナスオープン」は
ASJJF と提携し、日本だけでなくアジアでも「マリアナスプロ」を開催し、
柔術を通じての国際交流を活発化させているのだ。

COPA DE MARIANAS 2024

Jiu Jitsu in Paradise GUAM

南国の島・グアムで毎年開催されている「コパ・デ・マリアナス」はポルトガル語で「マリアナスカップ」という意味の大会だ。グアムは春の「コパ・デ・マリアナス」、秋の「マリアナスオープン」が2大メジャートーナメントとなっている。

日本から参戦の村上彩、激戦の末に敗れるも大会ベストマッチの好勝負を展開

今大会のベストマッチだったのが女子マスター1黒帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦、村上彩(CARPE DIEM MITA)vsレノラ・マタナネ(FIGO'/ボンサイ)の女子マッチ。テイクダウンとスイープが交錯する好勝負は4-2でレノラ勝利に終わる。

The best match of the day was the female Master 1 black belt light feather one-match final between Aya Murakami (CARPE DIEM MITA) and Lenora Matanane (FIGO'/Bonsai). A good match with a mix of takedowns and sweeps ended in a 4-2 victory for Lenora.

いまやグアムを代表する黒帯となったアンソニー・クルーズは古巣・カーウソングレイシー グアムに出戻りして大会参戦。ノーギのアダルト黒帯オープンクラスでATOSグアムのジョン・メノ、PUREBREDグアムのオリバー・クルーズを連覇して優勝。

Anthony Cruz, now Guam's leading black belt, returned to his ex.team, Carson Gracie Guam, to compete in the tournament. He won NO-GI adult black belt open class, defeating John Meno of ATOS Guam and Oliver Cruz of PUREBRED Guam in succession.

ノーギに続きギでもオープンクラス制覇のアンソニー・クルーズ(カーウソングレイシー グアム)。アダルト黒帯オープンクラスの巴戦で、ジョン・メノ&オリバー・クルーズに勝利してコパ・デ・マリアナスを完全制覇。ギとノーギで3つの金メダルを手にしている。

Anthony Cruz (Carson Gracie Guam) won the Open Class in Gi after NO-GI. He won Adult Black Belt Open Class three-way match against John Meno & Oliver Cruz to win the Copa de Marianas outright. He won three gold medals in Gi and NO-GI.

アダルト黒帯ミディアムヘビー決勝戦はオリバー・クルーズ(PUREBREDグアム)とアンソニー・クルーズ(カーウソングレイシー グアム)のワンマッチ決勝戦で、14-0でアンソニー完封勝利。

Adult Black Belt Medium Heavy final was a one match final between Anthony Cruz (PUREBRED Guam) and Anthony Cruz (Carson Gracie Guam) with Anthony winning points by 14-0.

アダルト茶帯はヘビーとオープンクラスで同じ顔合わせの2連戦に。ニコラス・ブラウン(PUREBREDグアム)がライモンド・シノハラ(マチャドグアム)にヘビー決勝は絞めで、オープン決勝は14-0で勝利してWゴールド。

Adult brown belt category had two consecutive bouts with the same face-offs in the heavy and open classes. Nicholas Brown (PUREBRED Guam) defeated Raimondo Sinohara (Machado Guam) by choke in the heavy final and 14-0 in the open final for the W gold.

グアムのローカル選手の中で最も勢いがある女子選手なのが、フランチェスカ・リザマ(PUREBREDグアム)だ。昨年のマリアナスオープンでも優勝しており今大会でも優勝してマリアナス連勝中。

Francesca Lizama (PUREBRED Guam) is the most promising local female competitor in Guam. She also won the Marianas Open last year and is on a Marianas winning streak by winning this tournament as well.

チーム表彰ではマスター以外のアダルト、キッズ、女子でチーム優勝を果たしたATOSグアム。3つのカテゴリーでチーム優勝したことでグアム最強のチームといっても過言ではないだろう。

ATOS Guam won team awards in Adult, Kids, and Female's categories other than Master, and with team awards in all three categories, it is no exaggeration to say that they are the best team in Guam.

Interview

President & CEO Guam Visitors Bureau

CARL T.C. GUTIERREZ

カール・T.C.・グティエレス / グアム政府観光局 CEO

マリアナスオープンを主催するスティーブ・シミズの良き理解者で支援者となっているのがグアム政府観光局＝ GVB のクレイグだ。クレイグが柔術に対し、熱烈な支援を行ってくれているおかげで国内外の柔術シーンに多大な貢献をもたらしているのだ。

「グアムのスポーツ・ツーリズムに柔術の要素を活用する」

Leveraging the jiu jitsu factor for Guam sports tourism

スポーツ・ツーリズムは、デスティネーション・グアム（西太平洋に浮かぶ、小さいながらも活気に溢れ、太陽の光が降り注ぐトロピカルな島）にとってかけがえのない相手である。

COVIDは2020年に観光事業を停止し、グアムは2023年5月、過去20年以上で最悪の台風に見舞われたが、グアム政府観光局（以下「GVB」）は、さまざまな国からのさまざまなタイプの観光客を誘致し、グアムに立ち寄り、しばらく滞在するためのさまざまな魅力的な理由を提供することで、失われた市場シェアを回復するために熱心に取り組んできた。その成長市場のひとつがスポーツ・ツーリズムだ。

このスポーツツーリズムの中心人物が地元の実業家スティーブ・シミズで、彼が推進する柔術の大会「マリアナスオープン」の大会運営チームの奮闘と一貫性のおかげで、柔術はグアムで最も重要な観光主導型スポーツのひとつとして着実に成長した。

柔術の世界は国際的な家族のようなもので、またグアムの誰もが知っているように、グアムは家族がすべてだ。実際、グアムという島の現代的な名前は、古代の前身である “Guahan”に由来している。“Guahan ”とは、“私たちは持っている”、“私たちの”という意味である。

GVBはグアムにおける柔術の集客力を認識し、国際的な競技者、著名なインストラクターやコーチ、チーム、旅行ファンを惹きつけるイベントの共催を開始した。高額な賞金を提供し、GVBがアジアを代表する柔術メディアの「Jiu Jitsu NERD」や「Jiu Jitsu TODAY」誌に取り上げられることで、世界で最も有名な柔術のトップ選手たちが集まった。

そしてGVBはグアムで柔術というスポーツが盛んになるにつれ、より多くのグアムの選手やチーム、親しいサポーターや家族が、島外の大会に参加し、グアムの親善大使になることを知っていた。やがてこれらのピークフォームのアスリートたちが、自国の

Sports tourism is a priceless match for Destination Guam - a small but vibrant, sunny, tropical island in the Western Pacific with an active visitor industry that traditionally generates about 60% of this US territory's total annual revenue.

Although COVID shut tourism down in 2020 and Guam was hit by the worst typhoon to cross our shores in over 20 years last May, the Guam Visitors Bureau (“GVB”) has worked diligently to recover lost market share by enticing different types of tourists from various countries, offering a range of compelling reasons to touch down and stay awhile. One growing market is sports tourism.

Thanks in large part the scrappiness and consistency of local businessman Steve Shimizu and his Marianas Open organization, Jiu Jitsu has steadily grown into one of Guam's most important tourism-driven sports.

The world of Jiu Jitsu is much like an international family. And, as everyone in Guam knows, Guam is all about family. In fact, our island's modern name of “Guam” is derived from its ancient predecessor, “Guahan,” which means, “we have” or “ours.”

Recognizing the visitor-attracting power of the sport, GVB began co-sponsoring events in Guam that drew international competitors, right along with their trainers, organizations, and traveling fans. Offering high-dollar grand prizes, GVB's ads in the Asian best

グアム政府観光局の主要メンバー。左からディー・エルナンデス、カール・T.C.・グティエレス、クレイグ・カマチョ。
They are members of the Guam Visitors Bureau. From left to right, Dee Hernandez, Carl T.C. Gutierrez, and Craig Camacho.

フィットネス、運動能力、規律、良きスポーツマンシップ、仲間意識、国際的友好の模範となり、このグアムで開催される国際大会の健全な代表として評判になっていることは明らかだった。

私たちはスティーブのようなプロモーターと協力して、キッズやジュブナイルなどの若いアマチュアと、そのジムや家族を海外からグアムに誘致し、繰り返し大会を開催するようになっていった。

こうしてマリアナスオープンは、毎年開催される大会のひとつに成長していったのだ。この柔術というスポーツをグアムで成長させたいという願いと、GVBが新たなスポーツ・ツーリズム市場を開拓し、育成し、拡大し、持続させたいというニーズが合致した結果なのだ。実のところ、グアムで柔術を牽引している情熱とコミットメントは、このスポーツがより広い国際市場に進出することを当然のこととしてい

Jiu Jitsu Media "Jiu Jitsu NERD" and "Jiu Jitsu TODAY" Magazine attracted some of the biggest names and most recognized Jiu Jitsu black belts in the world.

GVB knew that as the sport continued to thrive, more and more of Guam's fighters, as well as their teams, closest supporters, and families, would travel to off-island competitions and become goodwill ambassadors for our destination. Soon, it was evident that these peak-form athletes were becoming models of homegrown fitness, athleticism, discipline, good sportsmanship, camaraderie, and international friendship, as well as reputationally sound representatives for

た。

グアムが柔術のデスティネーションとして、またトレーニングや大会のハブとして世界的に認知されるようになるには、すでに世界クラスの柔術大会でよく知られている国際都市にアスリートを招き、そのノウハウを学ぶ必要があった。

GVBはグアム主催のトーナメントを海外に宣伝し始めたが、2020年の世界的大流行により、GVB主催のイベントは中止を余儀なくされ、COVIDの長い冬の間、世界の柔術はアンダーグラウンドに追いやられてしまった。

いま事務局はスティーブ・シミズと彼のマリアナスオープン・ブランド、そして地元の柔術ジムとともに、グアムや他の開催地での大会復活を支援することを楽しみにしているとのこと。

2007年、スティーブは第1回のマリアナスオープンを立ち上げて大会を運営し、50人の参加者を集めた。COVIDがグアムに進出する直前、毎年開

international competitions staged right here at home.

We started working with promoters like Steve to attract young amateurs at white, gray, yellow, and blue belt levels, plus their gyms and families from abroad, to visit Guam for repeated competition.

That's how the Marianas Open grew to become one of our annual tournaments: matching a desire to grow the sport here with GVB's need to sprout, nourish, expand, and sustain viable new sports tourism markets. Truthfully, the passion and commitment driving Jiu Jitsu in Guam made the sport's broader international market a no-brainer.

If Guam was going to become globally recognized as a Jiu Jitsu destination and training/tournament hub, it needed to learn the ropes by bringing its athletes to established cosmopolitan venues already well known for world class Jiu Jitsu

クレイグ氏は3月に来日し、名古屋で開催された「マリアナスプロジャパン」の大会を視察。グアム以外の大会に自ら足を運んで現地の柔術熱の高まりを感じ、さらなるパートナーシップを約束。

Mr. Craig visited Japan in March and observed the Marianas Pro Japan tournament in Nagoya. He personally visited tournaments outside of Guam and feel growing passion for Jiu Jitsu in the area, and promised further partnerships.

マリアナスオープン主催のスティーブ・シミズ、GVBのクレイグ・カマチョ氏、マリアナスオープン運営サポートの篭原エヂソンの3人がマリアナスオープンの大会運営を通じてグアムのスポーツ・ツーリズムをけん引していく。

Marianas Open organizer Steve Shimizu, Craig Camacho from GVB and Marianas Open super visor Edison Kagohara will lead sports tourism in Guam through the Marianas Open tournament operations.

催されているマリアナスオープンは、アジア太平洋地域から300人から400人の競技者を迎えていた。

グアムのこのスポーツへの熱意の広さを示すように、昨年は選手、コーチ、その家族からなる600人のグアム人が、ひとつの大会のために日本を訪れた。グアムを拠点とする柔術ツーリズムは、グアムで大きな反響を呼んでいるのだ。

今年、GVBはマリアナスオープンの運営チームが主催する大会のアクティブなスケジュールをサポートすることが決まっている。

以下が2024年度にGVBが協賛する大会リストだ。

2月3日：コパ・デ・マリアナス（グアム）
3月9日：マリアナスプロ・ジャパン（名古屋）
4月20-21日 マリアナスプロ・フィリピン（マニラ）
6月16日：マリアナスプロ・コリア（ソウル）
10月12日：マリアナスオープン / 最終戦（グアム）

competition.

Although GVB began promoting Guam-hosted tournaments overseas, the global pandemic of 2020 forced the cancellation of GVB sponsored events and drove worldwide BJJ underground for a long COVID winter.

Revival of the fittest

Now, together with Steve Shimizu, his Marianas Open brand, and local Jiu Jitsu gyms, the bureau looks forward to helping revive competition in Guam and other host destinations.

In 2007, Steve set up and managed the first Marianas Open, fielding 50 participants, most of whom were local. Just before COVID reached Guam, the annual Marianas Open was hosting between 300 and 400 competitors from the Asia-Pacific region.

As a testament to the breadth of Guam's devotion to this sport, last year, 600 Guamanians comprised of athletes, coaches, and their family members traveled to Japan

GVBは地域のスポーツ・ツーリズムを構築すると同時に、地元選手のさらなる育成を目指すこれらの取り組みに誇りを持ってサポートしていくという。

GVBデスティネーション・マネジメント・ディレクターのディー・ヘルナンデス氏とGVB地域開発オフィサーのクレイグ・カマチョ氏は、今年のマリアナスオープン開催に関連したGVBの島内コーディネーション活動を指揮する。

クレイグ氏は長年にわたり、グアムの観光スポーツとして柔術の発展を支持しており、彼の先見性、ビジョン、そして真のサポーターとしての粘り強さに感謝している。

長年の柔術愛好家でもあるクレイグは、この格闘技の内部構造に関する豊富な知識と実践的な理解を持ち、グアムの目玉アトラクションとして柔術を発展させてきた。

GVBのコミットメントに忠実に、ツアーや旅行のあらゆる段階で訪問者の安全と満足の確保を支援することで、マリアナス・ブランドのトーナメントが、厳格な競技規則の用心深い遵守と適切な実施を通じて、参加選手の安全を最優先していることにも心を砕いているのだ。

カール氏はグアム政府観光局のCEOだけでなくグアム州知事の最高顧問も務め、チーフアドバイザーも兼任している。過去にはグアム州知事の経験もあり、グアムと世界を繋ぐ重要人物だ。

Mr. Carl is not only the CEO of the Guam Visitors Bureau, but also serves as the Chief Advisor to the Governor of Guam. He has served as the Governor of Guam in the past and is an important link between Guam and the world.

for a single tournament. Guam-based BJJ tourism has become a resounding success! This year, GVB looks forward to supporting an active schedule of Jiu Jitsu events:

February 3: Copa de Marianas (Guam)
March 9: Marianas Pro Japan (Nagoya)
April 20-21: Marianas Pro Philippines (Manila)
June 16: Marianas Pro Korea (Seoul)
October 12: Marianas Open / Final Event (Guam)

GVB proudly supports these efforts to build regional sports tourism while further developing our local athletes at the same time.

GVB Director of Destination Management Dee Hernandez and GVB Community Development Officer Kraig Camacho will lead GVB's on-island coordination efforts in connection with the Marianas Open organization this year.

For many years, Kraig has been championing the development of BJJ as a tourism sport for Guam, and we are grateful for his foresight, vision, and tenacity as a true believer. As a longtime BJJ enthusiast himself, Kraig is a wealth of knowledge and practical understanding of the inner workings of this martial art and has shepherded its development as a showpiece attraction for the island.

True to GVB's commitment to helping ensure visitor security and satisfaction at every phase of their tour and travel, we also take heart that Marianas-brand tournaments prioritize the safety of participating athletes through the vigilant observance and competent enforcement of strict rules of engagement.

BJJ GYM in GUAM

01 ATOS GUAM

滞在してたホテルから歩いていける距離にあったATOSグアム。大会前日に行ったのでクラスはなくてオープンマットでした。ここで軽く体を動かして体重チェックしてきました。体重が軽めの人とライトスパーしてもらって試合に向けての最終調整でした。キッズともスパーしたけど、動きが早くてテクニックもしっかりしてました。この子は大会でも好成績を残してるグアムでも有名な子だったようです。練習後にみんなと少し話したけど、あんまり英語ができないなりに身振り手振りでなんとか意思疎通できてよかったです。

Infomation

941, 2 14 Unit H-1, Tumon, 96913
https://www.instagram.com/atosjiujitsuguam/

BJJ GYM in GUAM

02 RM Sports

DEEPのメガトン級チャンピオンのロッキー・マルチネスのジム「RMスポーツ」では打撃の練習をさせてもらいました。昼クラスに参加したのですが、ちょうど韓国から観光で来てる女子がビジターで参加してたので一緒に組ませてもらいました。ロッキーも丁寧に教えてくれて、コンビネーションの打ち方やパンチのブロックの仕方などを教わりました。私は打撃が苦手なので、ここで教えてもらったテクニックをしっかり復習したいです。MMAのクラスは週に1回しかないので今回は参加できなかったのは残念でした。

Infomation

865 S Marine Corps Dr, Tamuning, 96913
https://www.instagram.com/rmsportsguam/

BJJ GYM in GUAM

03 PUREBRED GUAM

グアムの老舗ジム「PUREBREDグアム」はグラップリングクラスに参加しました。このジムは老舗だけあって黒帯の選手やプロのMMAファイターなど、ハイレベルな選手が多いと聞いていたので練習するのが楽しみでした。スパーは男子ともたくさん組ませてもらいました。やはりみんな強かったです。練習の前後は黒帯だけ前に出て整列するシステムで、私もそこの並ばせてもらいました。女子のフランチェスカ・リザマは日本にもよく来て試合してるので、また日本で会うことを約束しました。再会が楽しみです。

Infomation

941, 2 14 Unit H-1, Tumon, 96913
https://www.instagram.com/atosjiujitsuguam/

BJJ GYM in GUAM

04 Tha YARD FITNESS

ここはサイトもない隠れ家的なジムで、他に比べると小さめだけど、小柄な選手がたくさんいて濃い練習ができました。このジムはUFCファイターのトレヴィン・ジョーンズが指導してるけど、この日は不在で残念。でも偶然来てた元ONEヘビー級王者のブランドン・ヴェラには会えました。大きかったです。練習した人たちは過去に日本で試合したこともあるプロ選手たちで、昨年末に引退した山本美憂さんも現役時代はここで練習していたそうです。パスガードを褒められて少し教えたりもしました。

Infomation

住所非公開
https://www.instagram.com/thayardfitness/

1

2

3

4

1.成田空港から3時間ほどで到着するグアム。今春から羽田空港からのフライトも就航してさらに行きやすくなりました。2月なのに着いた瞬間から暖かくて寒いのが苦手な私には嬉しい気候でした。 2-3.ホテルから出るとすぐビーチだったのでグラビア撮影もしました。ビキニになるのは恥ずかしかったけど、いい写真がたくさん撮れて満足です。ここで撮影した写真はfantiaやOnlyfansで公開してるので、ぜひ見てみてください。 4.試合は負けてしまったけど、試合後にはたくさんの人たちに「いい試合だったよ」と声をかけられて嬉しかったです。記念撮影もお願いされてプチ人気者でした(笑)。次にグアムで試合するときは必ず勝ちます！ 5.グアムではマリアナスオープンのスタッフの方々には大変お世話になりました。大会会場への送り迎えや練習に行くときのジムの送迎、食事もあちこち連れてってくれて感謝感激です。ありがとうございました。 6.大会のプロモーションで地元メディアのインタビューも受けました。英語での受け答えだったんだけど、何度も撮り直しながらなんとかクリア。このインタビューはTVで流されたみたいだけど私は見れてません。

5

6

過去最高金額の賞金総額は
US$50000=日本円で750万円

MARIANAS OPEN

いよいよ10月にグアムで開催される「マリアナスオープン」。今大会は賞金総額$50000という過去最高金額が賭けられた賞金トーナメントが最大の見どころだ。この賞金はアダルトのみならずマスターカテゴリーにも賭けられており、大会参加者のほとんどに賞金獲得のチャンスがあるといえるだろう。そして今大会開催に先駆けてアジアを中心に3カ国で予選的な大会の「マリアナスプロ」が開催された。3月に日本・名古屋で「マリアナスプロジャパン」、4月にフィリピン・マニラで「マリアナスプロ・フィリピン」の2大会が開催され、6月には韓国・ソウルにて「マリアナスプロ・コリア」が開催予定だ。これらの「マリアナスプロ」シリーズの優勝者たちと、グアム在住のローカル選手たちが一同に介して賞金争奪の激戦を繰り広げるのが「マリアナスオープン」なのだ。昨年の「マリアナスオープン」では日本から出場した選手たちのほとんどが優勝&入賞を果たし、好成績を残した。今年は昨年よりも多い選手たちが出場予定となっており、さらなる戦績を残すのは間違いないところ。この大会は一般参加も可能なので、常夏の島・グアムで観光を兼ねて大会出場はいかがだろうか。

日本から「マリアナスオープン」出場予定の選手たち

アダルト黒帯オープンライト優勝
ダニーロ・ハマザキ / CARPE DIEM MITA
アダルト黒帯オープンヘビー優勝
シャビエル・シウバ / EVOX BJJ
アダルト茶帯オープンライト優勝
斉藤晶 / INFIGHT JAPAN
アダルト茶帯オープンヘビー優勝
カウアン・タニノ / 福住柔術
アダルト紫帯オープンライト優勝
熊田堅信 / Sendai Jiu Jistu Academy
アダルト紫帯オープンヘビー優勝
寺本裕基 / パラエストラ天満
アダルト青帯オープンライト優勝
中島琉輝 / AXIS
アダルト青帯オープンヘビー優勝
中野怜王 / パラエストラ天満
ジュブナイル青帯オープンヘビー優勝
グスタボ・ナカハラ / カーロストヨタ BJJ
マスター1黒帯オープンライト優勝
マーシオ・メデイロス / Impacto BJJ
マスター1黒帯オープンヘビー優勝
トーマス・ミッツ /
CARPE DIEM JIYUGAOKA
マスター3黒帯オープンライト優勝
ホジェリオ・クリスト / EVOX BJJ
マスター3黒帯オープンヘビー優勝
ヨースキ・ストー / Impacto Japan
マスター1茶帯オープンヘビー優勝
ルーカス・ヒロサワ / INFIGHT JAPAN
女子アダルト黒帯オープンライト優勝
ミレーナ・カオリ / ALMA FIGHT GYM
HOMIES GIFU
女子アダルト茶帯オープンヘビー優勝
カロリーナ・クワハラ / INFIGHT JAPAN
女子アダルト紫帯オープンヘビー優勝
吉永愛 / パラエストラ岐阜
女子アダルト青帯オープンヘビー優勝
上田真央 / 吹田柔術

「マリアナスオープン 2024」
日程 :10/12(土)
会場 : グアム大学
カルボフィールドハウス

昨年のマリアナスオープンでは日本から出場した選手たちが賞金を獲得。黒帯はグラント・ボグダノフ、茶帯はトミー・ヤノ、紫帯は岡明大がオープンクラスで優勝して金メダルと賞金を手にした。

AWARD CEREMONY 2023

ASJJFが制定するランキングの入賞チームと個人を表彰するアワードセレモニーと高段者帯昇格式が華々しく行われた。プレゼンターのSJJIF会長のジョアオ・シウバにより、アジアランキングとジャパンランキングの受賞者たちに記念盾が贈呈されている。

日程：3/10（日）　会場：愛知県武道館

アジアランキング・アダルトチーム表彰の入賞チーム。1位はImpacto BJJ、2位はOVERLIMIT BJJ、3位はINFIGHT　JAPAN、4位はEVOX BJJで、5位はフィリピンのデフタック・ヒベイロが入賞。

アジアランキング・キッズのチーム表彰入賞チームは1位にImpacto BJJ、2位はEVOX BJJ、3位はデフタック・ヒベイロ。4位にCARPE DIEM ASHIYAが入り、5位はOVERLIMIT BJJとなった。ジャパンランキングは1位にImpacto BJJ、2位にEVOX BJJ、3位にCARPE DIEM ASHIYAが入り、4位が九州・鹿児島のTATORU、5位はカーロストヨタBJJ。

ジャパンランキングのアダルトチーム表彰チームたち。1位はImpacto BJJ、2位はOVER LIMIT BJJ、3位がINFIGHT JAPANとなり、アジアランキングと同じだ。4位はEVOX BJJで5位はカーロストヨタBJJが入賞を果たす。

成績優秀なチームを率いた「プロフェッサー・オブ・ジ・イヤー」はチーム表彰の入賞ジムの代表者に贈呈されている。1位はブルーノ・イシイ(Impacto BJJ)、2位はヨースキ・ストー(Impacto BJJ)、3位にヘナート・シウバ(INFIGHT JAPAN)、4位はカーロス・トヨタ(カーロストヨタBJJ)、5位は高亀洋介(TATORU)。

アジアの「プロフェッサー・オブ・ジ・イヤー」、1位はブルーノ・イシイ(Impacto BJJ)、2位はヘナート・シウバ(INFIGHT JAPAN)、3位にはヨースキ・ストー(Impacto BJJ)、4位はカーロス・トヨタ(カーロストヨタBJJ)、5位はアルヴィン・アギラー(デフタック・ヒベイロ)だ。

アジアランキング・ノーギ部門のチーム表彰。1位はOVERLIMIT BJJ、2位はチェックマットフィリピン、3位はImpacto BJJ、4位はカーロストヨタBJJ、5位はセキタニ柔術アカデミーが入賞している。

ノーギのジャパンランキングの1位はセキタニ柔術アカデミー、2位はカーロストヨタBJJ、3位がImpacto BJJで、4位はLEOS Jiu Jitsu Academy、5位がINFIGHT　JAPANとなった。ノーギ部門はアジア＆ジャパンで入賞したセキタニ柔術アカデミーが活躍。

アジアランキング・アダルト

1位　Impacto BJJ
2位　OVERLIMIT BJJ
3位　INFIGHT　JAPAN
4位　EVOX BJJ
5位　DEFTAC RIBEIRO
6位　CARLOS TOYOTA BJJ
7位　Checkmat Philippines
8位　CARPE DIEM
9位　Sekitani Jiu Jitsu Academy
10 位　BONSAI Jiu Jitsu

アジアランキング・キッズ

1位　Impacto BJJ
2位　EVOX BJJ
3位　DEFTAC RIBEIRO
4位　CARPE DIEM ASHIYA
5位　OVERLIMIT BJJ
6位　TATORU
7位　CARLOS TOYOTA BJJ
8位　Mephose Jiujitsu Academy
9位　CARPE DIEM MITA
10 位　Team Kizuna

ジャパンランキング・アダルト

1位　Impacto BJJ
2位　OVERLIMIT BJJ
3位　INFIGHT　JAPAN
4位　EVOX BJJ
5位　CARLOS TOYOTA BJJ
6位　Sekitani Jiu Jitsu Academy
7位　BONSAI Jiu Jitsu
8位　Kussano Team
9位　CARPE DIEM
10 位　Yawara

ジャパンランキング・キッズ

1位　Impacto BJJ
2位　EVOX BJJ
3位　CARPE DIEM ASHIYA
4位　TATORU
5位　CARLOS TOYOTA BJJ
6位　Mephose Jiujitsu Academy
7位　Team Kizuna
8位　CARPE DIEM KURUME
9位　CARPE DIEM MITA
10 位　PARAESTRA KITAKYUSHU

アジアランキング・ノーギ

1位　OVERLIMIT BJJ
2位　Checkmat Philippines
3位　Impacto BJJ
4位　CARLOS TOYOTA BJJ
5位　Sekitani Jiu Jitsu Academy
6位　Artist MMA Academy
7位　DEFTAC RIBEIRO
8位　Leos Jiu Jitsu Academy
9位　INFIGHT　JAPAN
10 位　CEBU Jiu Jitsu

ジャパンランキング・ノーギ

1位　Sekitani Jiu Jitsu Academy
2位　CARLOS TOYOTA BJJ
3位　Impacto BJJ
4位　Leos Jiu Jitsu Academy
5位　INFIGHT　JAPAN
6位　CARPE DIEM
7位　9jitsu
8位　AXIS
9位　Newaza World Isc
10 位　Kussano Team

2023年度の高段者帯昇格式では4人の段位が認められた。ダニエル・ペレイラ(BASE Jiu Jitsu)とアンデウソン・マルケス(TREE BJJ)が4段に、福住慎祐(福住柔術)が5段に、そしてエジソン・レアンドロ(グラップリングゾーンアソシエーション)は9段の赤帯にそれぞれ昇格した。

エジソン・レアンドロ
(グラップリングゾーンアソシエーション)

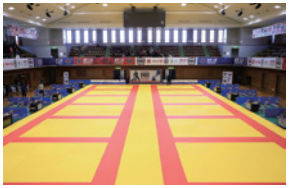
ダニエル・ペレイラ
(BASE Jiu Jitsu)

アンデウソン・マルケス
(TREE BJJ)

福住慎祐
(福住柔術)

SJJIF WORLDS 2024 日本開催決定！

SJJIF会長のジョアオ・シウバがマリアナスプロジャパン主催のスティーブ・シミズ、ASIA CUP主催の篭原エヂソンと会談。大会を視察し、来る世界選手権開催に向けて入念なミーティングを行った。



大会会場の愛知県武道館はASJJFでも多数大会を開催しており、運営に問題はないと思われる。マットは12面を設置予定で、4日間に渡る大会開催は間違いなく日本最大規模のものとなる見込みだ。

いよいよ9月に開催が迫ったSJJIFの世界大会である「SJJIFワールド」の日本開催。今大会に先立って大会を主催するSJJIF＝スポーツ柔術国際連盟の会長であるジョアオ・シウバもアジアカップに来日し会場を視察に訪れた。このSJJIFとはとは篭原エヂソン会長のASJJF=アジアスポーツ柔術連盟と村田良蔵会長のSJJJF＝スポーツ柔術日本連盟の上位連盟である。位置づけ的には国際連盟＝SJJIF＞アジア連盟＝ASJJF＞日本連盟＝SJJJFとなっており、主催はSJJIFで大会の運営はASJJFが行う。開催日程は9/26～29の4日間で、プレスケジュールはすでに発表されている。このSJJIFワールドもギ＆ノーギだけでなくパラ柔術、キッズも同時開催され、特にパラとキッズの世界大会はその他の連盟では開催されていないため、肩書だけでいえばSJJIFワールドが最高位のものだ。日本で柔術の世界選手権が開催されるのは初めてのことで、今回を逃すと次はいつ開催されるかわからないので、この貴重な機会を逃す手はない。

PRE SCHEDULE

9月26日(木)
パラ柔術
スペシャル柔術
デフ柔術
NO-GI オープンウエイト アダルト・マスターズ
**NO-GIマスター 3 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 4 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 5 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 6 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 7 ルースター～ウルトラヘビー

9月27日(金)
NO-GI アダルト ルースター～ウルトラヘビー
NO-GIマスター 1 ルースター～ウルトラヘビー
NO-GIマスター 2 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 3 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 4 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 5 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 6 ルースター～ウルトラヘビー
**NO-GIマスター 7 ルースター～ウルトラヘビー
GI オープンウエイト アダルト・マスターズ
GIマスター 4 ルースター～ウルトラヘビー
GIマスター 5 ルースター～ウルトラヘビー
GIマスター 6 ルースター～ウルトラヘビー
GIマスター 7 ルースター～ウルトラヘビー
※選手参加申し込みが予定人数を超えた場合は9月26日に試合を行う場合があります。

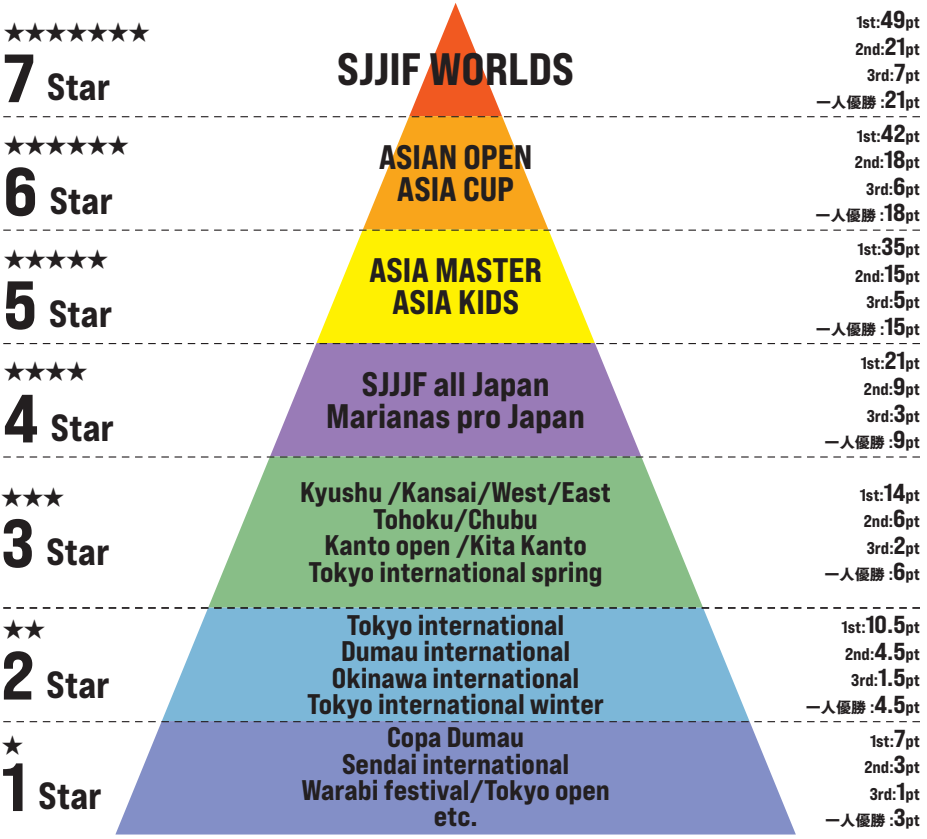
9月28日(土)
GI黒帯アダルト ルースター～ウルトラヘビー
GIマスター 1 ルースター～ウルトラヘビー
GIマスター 2 ルースターからウルトラヘビー
GIマスター 3 ルースター～ウルトラヘビー
NO-GI キッズ 全年齢・全階級
NO-GI ジュブナイル
**GIジュブナイル
※選手参加申し込みが予定人数を超えた場合は9月27日に試合を行う場合があります。

9月29日(日)
GIキッズ全年齢・全階級
**GIアダルト ルースターからウルトラヘビーまで
**GIジュブナイル
※選手参加申し込みが予定人数を超えた場合は9月28日に試合を行う場合があります。

JAPAN RANKING 2024

ASJJF ではポイント制による年間ランキングを設けており、
成績優秀者には表彰や翌年度の大会の出場費免除などの特典が与えられます。

大会のグレードと獲得ポイント数



A SJJFならびにSJJJFが主催、または提携する大会にはランキングポイントが定められており、入賞者には大会の格付けに応じたポイントが与えられます（上図参照）。ポイントは一年を通じ、獲得するごとに積み重ねられ、ポイント数によるランキングが制定されます。ランキングは各カテゴリーで設けられ（帯別、性別、年齢別）、成績優秀者※1は表彰、さらに各カテゴリーのランキング1位の選手には、2024年に日本国内で開催されるASJJF、SJJJF主催大会への参加費用が免除される特典※2※3もありますので、皆様には奮って大会へご参加いただきたいと思います。

なお、当ランキングは2024年1月以降開催される大会から対象となりますので、お間違えのないよう詳細はASJJFのHPでご確認ください。

※1：各カテゴリーには最低獲得ポイントが定められており、これを超えた選手のみの適用となります。　※2：200ポイント以上を獲得したランキング1位の選手が対象。
※3：アジアランキングで300ポイント以上を獲得した選手には参加費用免除に加え10万円が贈呈されます。

ASJJF Upcoming Events
2024 May-November

Kita Kanto Open Jiu Jitsu Championship 2024
群馬県
いずみ総合公園
町民体育館
5月19日(日)

Asia Masters Jiu Jitsu Championship 2024
東京都
Genスポーツパレス
6月8日(土)、9日(日)

Asia Kids Jiu Jitsu Championship 2024
東京都
Genスポーツパレス
6月8日(土)

Sendai International Open Jiu Jitsu Championship 2024
宮城県
仙台市武道館
6月23日(日)

XXI Copa Dumau De Jiu Jitsu 2024
愛知県
愛知県武道館
7月15日(月・祝)

West Japan Jiu Jitsu Championship 2024
大阪府
吹田市立武道館
7月21日(日)

Okinawa International Jiu Jitsu Championship 2024
沖縄県
沖縄市武道場
8月3日(土)

Central Japan Jiu Jitsu Championship 2024
愛知県
青山記念武道館
8月17日(土)、18日(日)

South Japan Jiu Jitsu Championship 2024 In Kiyama
佐賀県
基山町総合体育館
8月25日(日)

Shikoku Jiu Jitsu Championship 2024
徳島県
ソイジョイ武道館
9月1日(日)

Sjjif World Jiu Jitsu Championship 2024
愛知県
愛知県武道館
9月26日(木)～29日(日)

Oizumi Jiu Jitsu Festival 2024
群馬県
いずみ総合公園
町民体育館
10月6日(日)

Tokyo Open Jiu Jitsu Championship 2024
会場未定
10月19(土)、20日(日)

Chugoku Open Jiu Jitsu Championship 2024
山口県
岩国市総合体育館
10月27日(日)

Asian Open Jiu Jitsu Championship 2024
愛知県
愛知県武道館
11月2日(土)

Northeast Japan Jiu Jitsu Championship 2024
宮城県
仙台市武道館
11月3日(日)

Kanto Open Jiu Jitsu Championship 2024
東京都
Genスポーツパレス
11月23日(土)、24日(日)

ASJJF のホームページ

SJJJF のホームページ

DUMAU

www.dumauasia.com

ヒートプレス
HP
BJJ-GI

HEAT PRESS

PERSONALIZAÇÃO DE KIMONOS

ヒートプレス

カスタマイズBJJGI

heatpressbjjgi@gmail.com

HEATPRESSBJJ

KiNGZ
チャンピオンも愛用するKINGZ
www.kingz.jp
kingz.jp

JIU JITSU TODAY

【発行】

Asian Sport Jiu-jitsu Federation